強風の中、最後まで戦う

第52回 白糠町駅伝競走大会

2026年 11/1

第52回白糠町駅伝競走大会が開催され、19チーム95人が出場しました。当日は、北向きの風を背に受けながら、選手たちは力強い走りを見せ、沿道からの声援を受けて、仲間へとたすきをつなぎました。

小学生の部は４チームが出場し、標茶少年団Ａが42分で優勝。中学・高校・一般の部には15チームが出場し、CBBC白糠の「酸欠」が32分47秒で優勝しました。



たすきを胸にスタートする選手たち

共にふるさとを想う

札幌しらぬかふるさと会

2026年 10/31

札幌しらぬかふるさと会の総会と「ふるさとを語るつどい」が札幌市内で開かれ、会員や来賓、関係者など計64人が出席しました。

つどいでは白糠の特産品が当たる抽選会が行われるなど、参加者は思い出話に花を咲かせながら交流を深め、ふるさと白糠への変わらぬ思いを共有する姿が見られました。



来年の再会を誓う参加者

安全操業と豊漁を祈願

第47回ししゃも祭り

2026年 11/8

アイヌ伝承儀式「第47回ししゃも祭」がウレシパチセと茶路川新河畔広場で行われ、参加者が安全操業と豊漁を祈願しました。

儀式はウレシパチセでカムイノミ（火の神への祈り）、同広場でヌサオンカミ（祭壇御幣への祈り）とイチャルパ（先祖供養）のほか、平取アイヌ文化保存会と白糠アイヌ文化保存会が古式舞踊を奉納しました。



ウレシパチセで行われたカムイノミの様子

情感豊かな美しい旋律

バイオリン&ピアノ名曲コンサート

2026年 11/3

芸術文化鑑賞会「バイオリン＆ピアノ名曲コンサート」が社会福祉センターで開かれました。

株式会社オカモト所属のバイオリニスト和光憂人さんとピアニスト長尾崇人さんが出演し、今年で12回目を迎えたコンサートは「ロマンスの世界」をテーマに行われ、情感豊かな演奏で来場した85人の来場者を魅了しました。



演奏する和光さん（左）と長尾さん

牛乳の可能性は無限大

白糠消費者協会 牛乳・乳製品料理講習会

2026年 10/27

白糠消費者協会（長尾一恵会長）主催の牛乳・乳製品を使った料理講習会が社会福祉センターで開かれ、14人が参加しました。

講習会は町内でベーカリーカフェ「発酵スタジオcip（チプ）」を営む菅原里圭さんが講師を務め、ふわふわミルクパン、ごぼうとジャガイモのミルクスープ、ジャガイモのチーズガレットの３品を作りました。



パンの成型を指導する菅原さん（右）

安全かつ迅速な救助体制

北海道警察 災害救助訓練

2026年 10/26

北海道警察によるヘリコプターを使用した災害救助訓練が西庶路地区津波避難タワーで実施されました。

訓練では、同タワー屋上からの避難者救助を想定。ヘリコプターからワイヤーロープを使って担架を降ろし、救助隊員が避難者を担架に乗せて引き上げました。上空からの救助訓練により、災害発生時における迅速かつ安全な救助方法を確認しました。



要救助者を担架でヘリコプターに引き上げる訓練

20 年間ありがとう

しらぬか花くらぶ 創立20周年記念式

2026年 10/31

しらぬか花くらぶ（廣谷スマ子会長）の創立20周年記念式がそば処東家で開かれました。同くらぶは、JR白糠駅前の花壇整備をはじめ、町に彩りを届けてきましたが、20年の節目をもって活動に幕を下ろしました。

副会長の山根豊子さんは「20年間、みんなで花を育ててきたことは大切な思い出です」と語り、これまでの活動を懐かしみながら振り返りました。



花とともに歩んだ20年を振り返った会員

伝統芸能を見て、踊って

庶路学園４年生 「白糠駒踊り」を体験

2026年 10/27

庶路学園４年生が社会科の授業で、白糠の伝統芸能「白糠駒踊り」を体験しました。

当日は、白糠駒踊り保存会（染谷仁也会長）の８人が講師を務め、駒踊りを披露した後、歴史や伝統について授業を行いました。児童は駒の重さや踊りの難しさに戸惑いながらも、元気いっぱいに踊りに挑戦し、白糠に受け継がれる伝統文化への理解を深めました。



実際に駒を装着し、踊りを体験する児童